

# 動物用オバホルモン<sup>®</sup>注

OVAHORMON<sup>®</sup>INJECTION

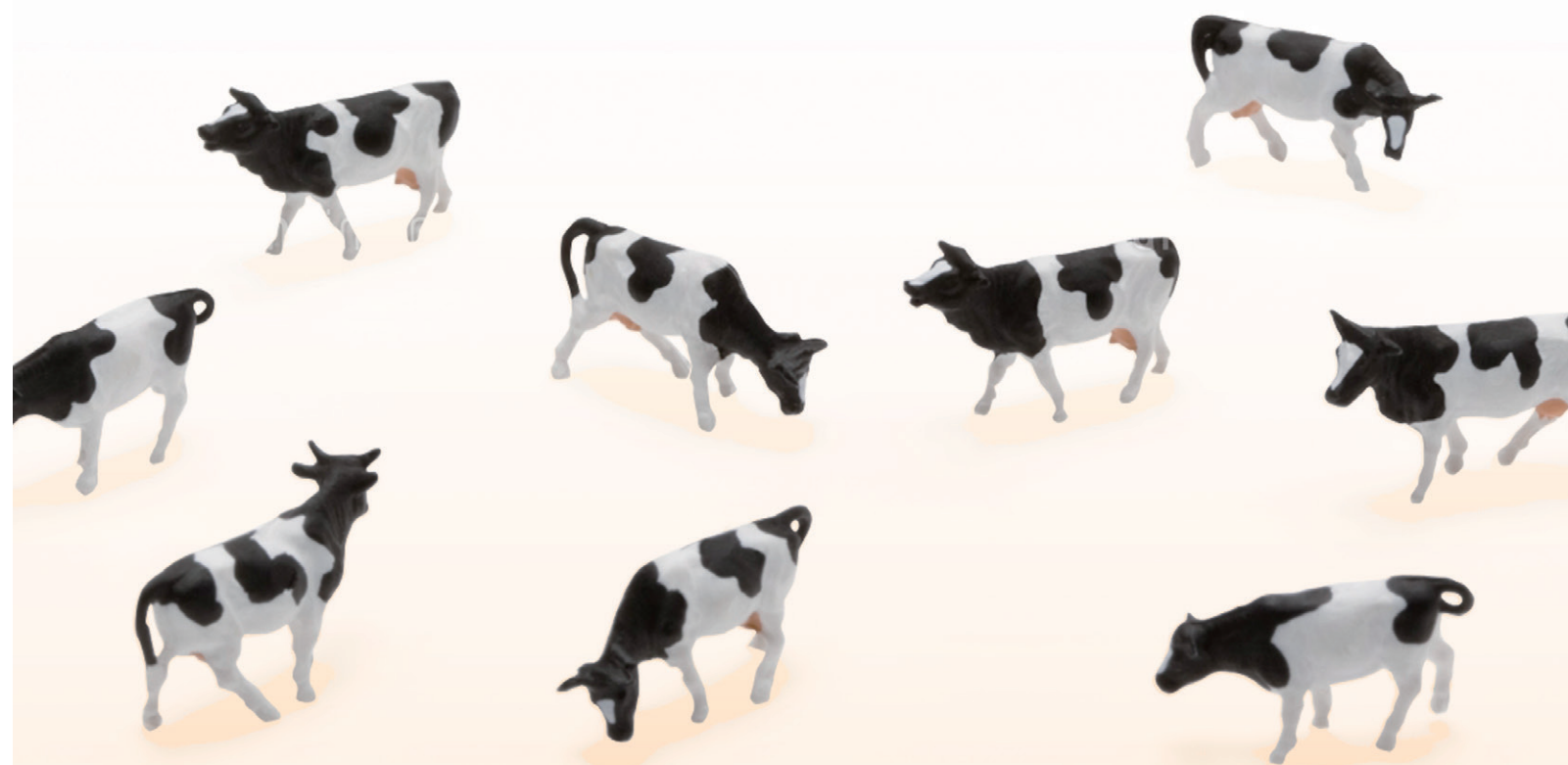
<p>本剤は、卵胞ホルモンであるエストラジオール-17βの安息香酸エステルであるエストラジオール安息香酸エステルを有効成分とする筋肉内投与用注射液です。エストラジオール-17βは膣、子宮及び卵管の成長と発達を促し、発情誘起作用や泌乳作用があります。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用済みの注射針は、針回収用の専用容器に入れること。針回収用の容器の廃棄は、産業廃棄物収集運搬業及び産業廃棄物処分量の許可を有した業者に委託すること。</li> <li>・注射器具は滅菌又は煮沸消毒されたものを使用すること。薬剤により消毒をした器具又は他の薬剤に使用した器具は使用しないこと(ガス滅菌によるものを除く。)。なお、乾熱、高圧蒸気滅菌又は煮沸消毒等を行った場合は、室温まで冷えたものを使用すること。</li> <li>・小児の手の届かないところに保管すること。</li> <li>・本剤の保管は直射日光及び高温を避けること。</li> </ul>			
成分及び分量	<table border="1"> <tr> <td>有効成分</td> <td>エストラジオール安息香酸エステル</td> </tr> <tr> <td>分量</td> <td>1mL中2mg</td> </tr> </table>		有効成分	エストラジオール安息香酸エステル	分量
有効成分	エストラジオール安息香酸エステル				
分量	1mL中2mg				
効果	<p>発情誘起(鈍性発情)、子宮頸管拡張、子宮内異物の排除、子宮発育不全、泌乳不全、犬の人工流産・前立腺肥大</p>	<p>2. 使用に際して気を付けること (使用者に対する注意)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・誤って注射された者は、直ちに医師の診察を受けること。</li> <li>・使用した後、あるいは使用者の皮膚に付着した場合は、石けん等でよく洗うこと。</li> <li>・妊娠中又は妊娠している可能性のある女性には、注射作業を行わせないこと。</li> </ul> <p>(対象動物に関する注意)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本剤の投与前には健康状態について検査し、使用の可否を決めること。</li> <li>・副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。</li> </ul>			
用法及び用量	<p>1日1回1頭当たりエストラジオール安息香酸エステルとして下記の量を筋肉内に注射する。</p> <p>馬:2~5mg 牛:2~5mg めん羊・山羊:1~2mg 豚:1~2mg 犬:1mg</p>				
使用上の注意	<p>(基本的事項)</p> <p>1. 守らなければならないこと (一般的注意)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本剤は要指示医薬品であるので獣医師等の処方箋・指示により使用すること。</li> <li>・本剤は効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。</li> <li>・本剤は定められた用法・用量を厳守すること。</li> <li>・本剤投与後下記の期間は、食用に供する目的で出荷等を行わないこと。</li> </ul> <p>馬:7日間 牛:7日間 めん羊・山羊:7日間 豚:7日間</p> <p>(取扱い及び廃棄のための注意)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本剤を分割投与する場合は、速やかに使用すること。</li> <li>・使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。</li> <li>・本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。</li> </ul>	<p>(専門的事項) 重要な基本的注意</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本剤の有効成分であるエストラジオール安息香酸エステルは、発がん性及び催奇形性を示唆する報告がある。</li> </ul>			
	薬学的情報等	<p>(薬効薬理)</p> <p>卵胞ホルモンは雌性動物の性器系を发育させるとともに、第二性徴の発現に関与し、次の作用を示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・去勢又は幼若動物において発情作用を示し、膣粘膜細胞の角化現象を起こさせる。</li> <li>・子宮内膜を増殖させ筋層の肥大を促す。</li> <li>・乳管の发育を促進する。</li> </ul>			
包装	10mL×5(バイアル)				
貯法	室温保存、密封容器				
使用期限	3年				

エストラジオール安息香酸エステル注射液

# 動物用オバホルモン<sup>®</sup>注

OVAHORMON<sup>®</sup>INJECTION

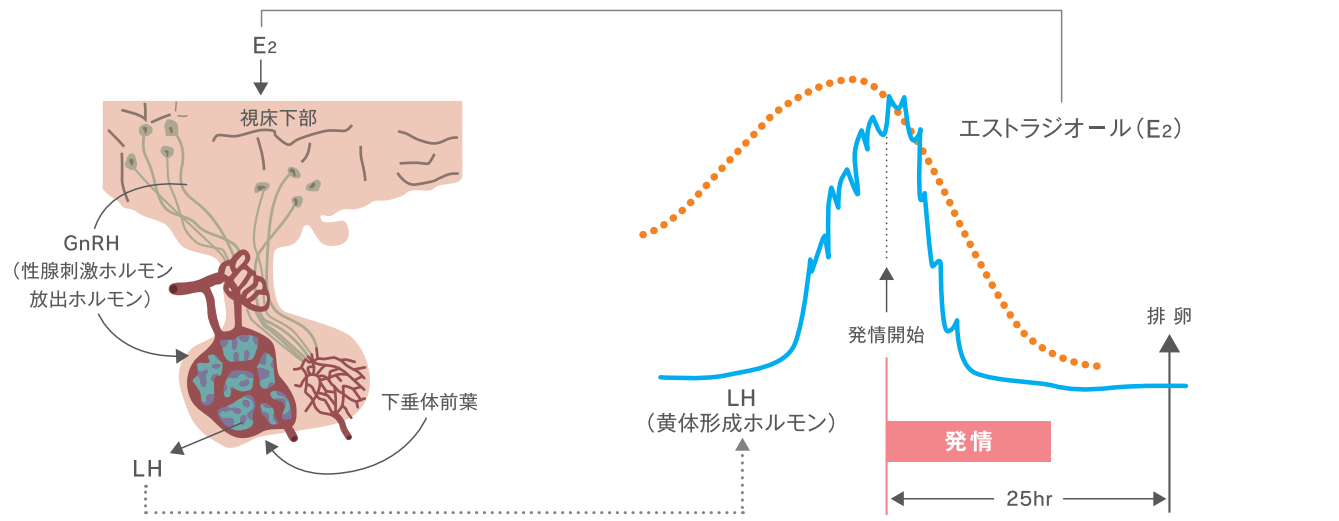
牛の発情発現率の向上に!



## ○ エストラジオールの発情に対する作用

エストラジオール(E<sub>2</sub>)は、卵巣の卵胞から分泌され、副生殖器や行動に変化を起し、発情徴候・発情を発現させます。血中のE<sub>2</sub>濃度は、血中プロジェステロン(P)の低下に伴い、発情開始前に上昇します。

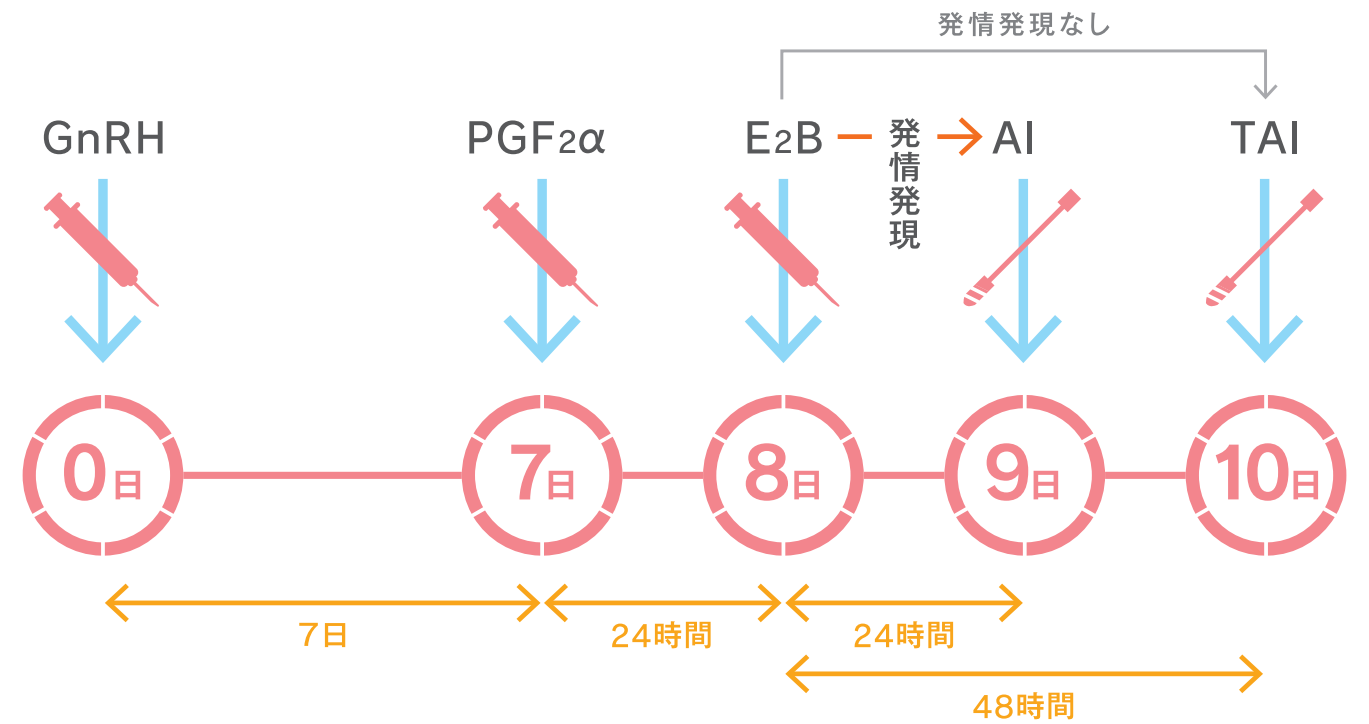
E<sub>2</sub>は、発情期に視床下部のGnRH分泌を介して下垂体前葉からLH(FSH)サージを引き起こし、排卵を誘起します。



視床下部・下垂体前葉のホルモンコントロール(模式図)

発情～排卵時期におけるエストラジオールとLHの血中濃度変化(模式図)

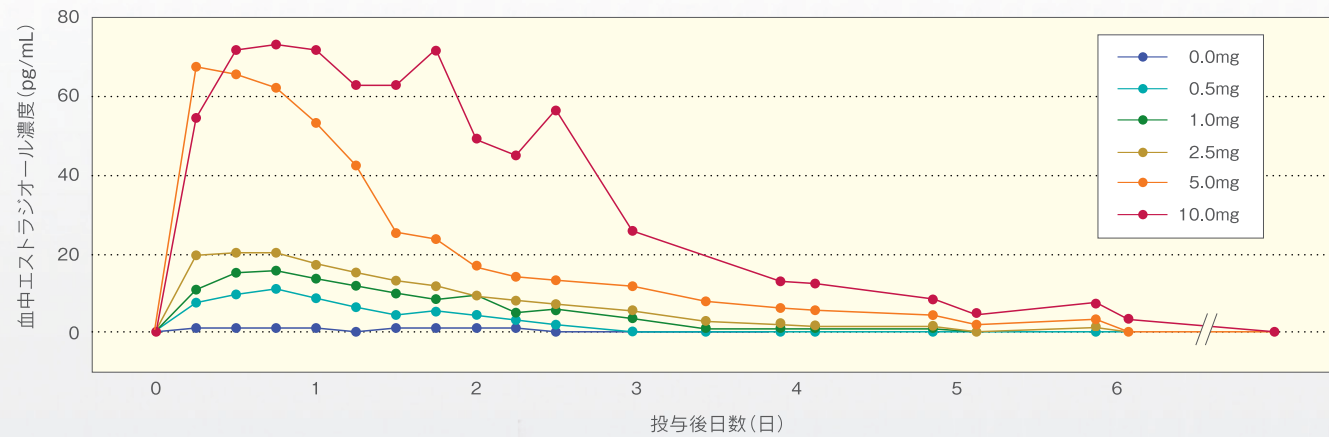
## ○ HEATSYNCH (ヒートシンク)



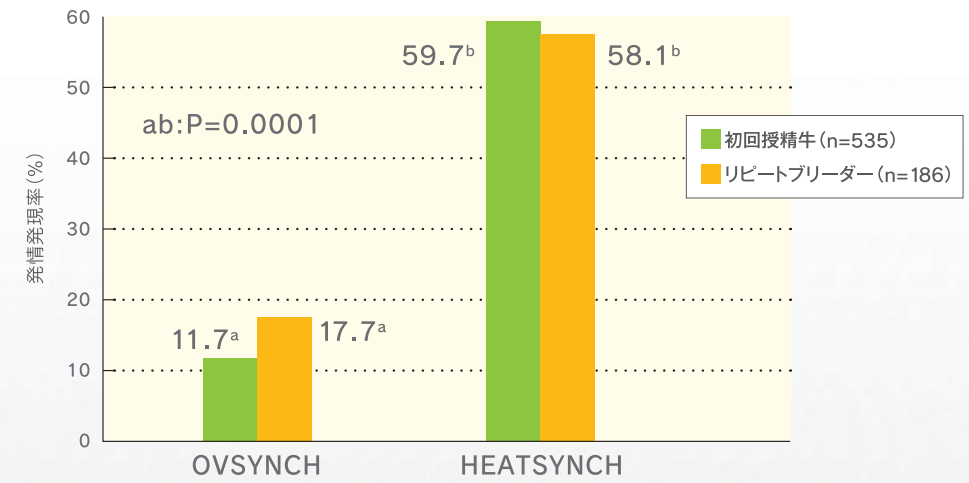
HEATSYNCHにおいては、E<sub>2</sub>B投与後、24時間以内に発情が認められたものは、24時間目に人工授精を行い、それ以外の場合はE<sub>2</sub>B投与後48時間目に定時人工授精を行います。

## ○ エストラジオール安息香酸エステル投与後の血中E<sub>2</sub>濃度

動物用オバホルモン®注の有効成分であるエストラジオール安息香酸エステルは、筋肉内注射すると、すみやかに生体内でエストラジオール-17βに代謝され、約半日で最高濃度に達し、作用を示します。



卵巣摘出未経産牛における血漿中エストラジオールの濃度推移 (M.O' Rourke et al., 1999 改変)



HEATSYNCHは、OVSYNCHに比較し、処置後の高い発情発現率が得られます。(Kasimanickam et al., 2005)

### 使用する製剤名

	製剤名	用量
GnRH	動物用イトレリン®注射液	2.5mL (プセリリンとして10μg)
	コンサルタン®注射液	2mL (フェルチレリン酢酸塩として100μg)
PGF <sub>2</sub> α	レジプロン®-C	2mL (0.5mg)
E <sub>2</sub> B	動物用オバホルモン®注	0.5mL (1mg)

